

★ 果樹カメムシ類情報 ★

果樹カメムシ類の予察灯への飛来が、地域によっては多い状態です。
カンキツ、カキ等、今後収穫期を迎える園では発生に十分注意してください。

- ・ 8月第4半旬から9月第3半旬のチャバネアオカメムシの予察灯（BL）への誘殺数は、京丹後市及び亀岡市で多く、京田辺市ではやや少ない状態です（図）。
- ・ クサギカメムシの誘殺数は京丹後市で多く、亀岡市でやや多く、京田辺市では少ない状態です（表1）。
- ・ ツヤアオカメムシの誘殺数は京丹後市で多く、亀岡市でやや多く、京田辺市ではやや少ない状態です（表2）。
- ・ 今後、夜温が高い日にはカメムシ類の活動が高まり、果樹園への飛来が多くなることも考えられます。

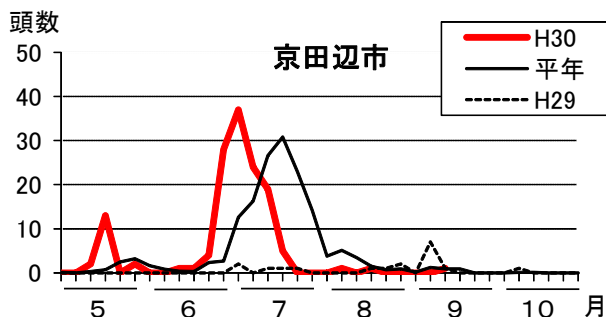


写真 果樹カメムシ類成虫
チャバネアオカメムシ クサギカメムシ ツヤアオカメムシ

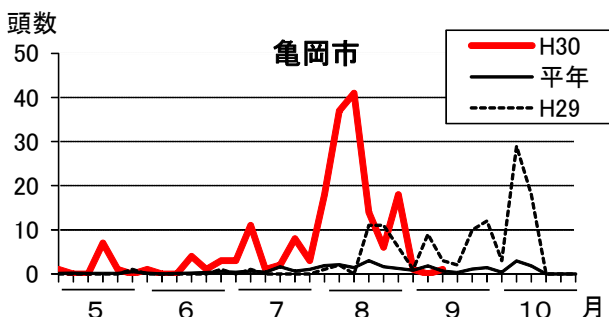


表1 クサギカメムシの予察灯（BL）への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	0	4.4
亀岡市	6	4.4
京丹後市	72	32.6

※誘殺数：8月第4半旬～9月第3半旬の合計値

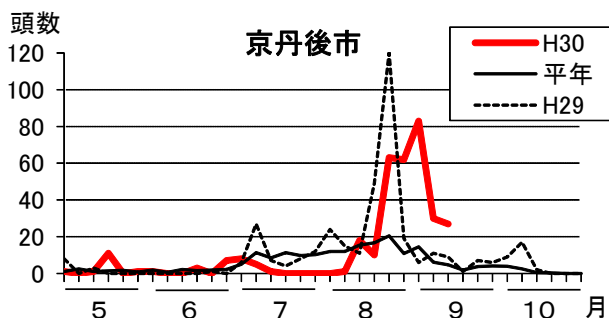


表2 ツヤアオカメムシの予察灯（BL）への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	0	3.1
亀岡市	4	1.9
京丹後市	25	9.6

※誘殺数：8月第4半旬～9月第3半旬の合計値

図 チャバネアオカメムシの予察灯（BL）への誘殺状況

防除上の注意事項

- (1) 特に、山林等の隣接園では注意が必要です。幼果を吸汁されると落果するので、園内外の成虫の発生状況などをこまめに観察し、発生を認めたら早めに防除してください。
- (2) カメムシ類は夜行性ですので、夕方の防除が有効です。
- (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けてください。
- (4) 防除薬剤を使用する際は、使用基準を厳守してください。